

授業科目名： 教育実習(初等)(1) 教育実習(初等)(2)	教員の免許状取得のための 必修科目	単位数： 5単位 3単位	担当教員名： 嶋田 優・横山 美明・齋藤 憲子
			担当形態：クラス分け・単独
実務内容 (実務家教員の場合)	小学校教諭としての勤務経験をもつ教員が、学校現場に求められる実践的な指導をする。		
科目	教育実践に関する科目(幼稚園・小学校)		
施行規則に定める 科目区分又は事項等	教育実習		
「学位授与の方針」との関係			
DP2.共生社会創造のために、教育、福祉、環境、国際関係、スポーツ身体表現、等の専門的知見を得ることができる(専門知) DP4.個人や社会にとって必要な課題の解決のため、自律的な課題探究能力を身につけ実践することができる(実践力)			
授業のテーマ及び到達目標			
教育実習の意義や役割について理解を深め、実際の学校現場で教育実習を行う。これらの活動を通して学校の教育活動や教師の仕事について理解を深め、将来、教師になろうとする意志をもつ。			
授業の概要			
教員養成カリキュラムは教育職員免許法と同法施行規則に基づいて作成されている。教育実習もこれらに沿って行われるが、教育実習は実際に子どもが学ぶ学校現場で実施される点に注意し、具体的な内容、方法等について習得し、教育実習に課題意識をもって取り組むことを目指している。			
授業計画			
第1回～第15回は、テキストを参考として自己学習 第1回：「教員の資質能力とはどのような内容か」について中教審の答申からまとめる。 第2回：「授業研究の実際」について、要点と自分の考えをまとめる。 第3回：本学の教員養成についての理念「共生する社会」について、自分の考えをまとめる。 第4回：本学の教員養成についての理念「広い知力」「心の耕作」「課題探求力」について、自分の考えをまとめる。 第5回：「教師の一日の行動」を参考に、実習生としての留意点(着眼点)についてまとめる。 第6回：「学級づくり」「担任の配慮と工夫」の留意点(着眼点)についてまとめる。 第7回：「朝の会・帰りの会」「給食指導・清掃指導」の留意点(着眼点)についてまとめる。 第8回：「教室環境づくり」「部活動(中・高)」の留意点(着眼点)についてまとめる。 第9回：「児童・生徒指導」「インクルーシブ教育」についての着眼点をまとめる。 第10回：「保護者・地域連携」の留意点(着眼点)についてまとめる。 第11回：「介護体験の意義と目的」「心構え」の留意点(着眼点)についてまとめる。 第12回：教育実習に向けて想定される質問に対する回答を考えまとめておく。(事前) 第13回：教育実習に向けての配慮事項、留意点についてまとめておく。(事前) 第14回：教育実習を終えて、事後指導に関する課題を整理しまとめておく。(事後) 今後のICT活用の方策や配慮等についての理解を図る。 第15回：教育実習事後指導を終えて、自己の課題と今後の目標等についてまとめる。(事後)			
スクーリングでの学修			
本科目に関してはスクーリングが「教育実習事前指導」「教育実習事後指導」それぞれ一日ずつ行われる。それぞれのスクーリングでは、第12～15回の内容を中心としている。			
テキスト			
『教員を目指す人のために—初等教育編—』(星槎大学 教職総合支援センター)			
参考書・参考資料等			
・教育実習から教員採用・初任期までに知っておくべきこと(教育出版) ISBN 978-4-316-80433-0 ・学習指導要領			
学生に対する評価			
教育実習事前指導スクーリングの評価・教育実習に関する評価・教育実習事後指導スクーリングの評価等を総合して評価			